

科目コード	K112
授業科目名	ドイツ語
授業科目名(英文)	German
講義室等	6104
学科	看護学科
対象学年	1年
開講学期	通年
必修・選択の別	選択
単位数	2
時間数	30
該当ディプロマ	◎看DP-5
該当コンピテンス	◎看CP-2 ○看CP-8、 △看CP-7
学科	産業衛生科学科
対象学年	1年
開講学期	通年
必修・選択の別	選択
単位数	2
時間数	30
該当ディプロマ	◎産DP-4
該当コンピテンス	◎産CP-7、 ○産CP-6
担当教員	進藤 良太
授業の概要	他者との円滑なコミュニケーションのために言語の習熟、そして異なる文化・価値観への理解を深めることは不可欠の要件である。また、ある人が持つ文化・価値観とは、その実、その人の話す言語と密接に結びついていもいる。本授業ではこのようなコミュニケーション能力形成の一環としてドイツ語に習熟すると共に、ドイツの文化について学ぶ。
授業の到達目標 (学修効果)	1. ドイツ語を正しく発音することが出来る。 2. 基礎的な文法を理解することが出来る。 3. ドイツ語で自身の考えを伝えることが出来る。 4. 慣れ親しんだ日本語・英語に加えて、なぜ大学で第二外国語を学ぶのか、その意義を考えることが出来る。
予習復習の所要時間	講義時間30時間(2時間×1コマ×15回)+予習・復習60時間
成績評価方法	ワーク課題提出(40%)、定期試験(60%)で評価し、100点中60点以上を合格とする。
教科書	"System 15 Neu-Deutsche Grammatik" 出版社：同学社 著者：西本美彦、Nishimoto, Angelika、高田博行 ISBN 97-4-8102-0881-8
参考書	『アポロン独和辞典 第4版』 出版社：同学社 編集執筆：根本道也 他 ISBN:978-4-8102-0007-2
その他	

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R8.4.9	木	I	ドイツ語のAlphabet、発音	講義・グループワーク	進藤 良太	2	
				予習 シラバスを確認しておくこと。				
2	R8.4.16	木	I	ドイツ語のAlphabet、発音	講義・グループワーク	進藤 良太	2	
				予習 特になし				
3	R8.4.23	木	I	System1,4 動詞の現在人称変化	講義・グループワーク	進藤 良太	2	
				復習 学習した課の内容を確認する				
4	R8.4.30	木	I	System2 名詞の性・格、冠詞	講義・グループワーク	進藤 良太	2	
				復習 学習した課の内容を確認する				
5	R8.5.7	木	I	System3,6 冠詞類と形容詞の格変化	講義・グループワーク	進藤 良太	2	
				復習 学習した課の内容を確認する				
6	R8.5.14	木	I	System5 人称代名詞・前置詞	講義・グループワーク	進藤 良太	2	
				復習 学習した課の内容を確認する				
7	R8.5.21	木	I	system7 動詞の3基本形、過去人称変化	講義・グループワーク	進藤 良太	2	
				復習 学習した課の内容を確認する				
8	R8.5.28	木	I	system8 完了形、比較級	講義・グループワーク	進藤 良太	2	
				復習 学習した課の内容を確認する				
9	R8.6.2	火	III	system9 話法の助動詞、未来形、従属接続詞	講義・グループワーク	進藤 良太	2	
				復習 学習した課の内容を確認する				
10	R8.6.4	木	I	System10 分離動詞、zu不定詞	講義・グループワーク	進藤 良太	2	
				復習 学習した課の内容を確認する				
11	R8.6.11	木	I	System11 再帰動詞、分詞	講義・グループワーク	進藤 良太	2	
				復習 学習した課の内容を確認する				
12	R8.6.18	木	I	System12 指示代名詞、関係代名詞	講義・グループワーク	進藤 良太	2	
				復習 学習した課の内容を確認する				
13	R8.6.25	木	I	System13 受動態	講義・グループワーク	進藤 良太	2	
				復習 学習した課の内容を確認する				
14	R8.7.2	木	I	System14,15 接続法	講義・グループワーク	進藤 良太	2	
				復習 学習した課の内容を確認する				
15	R8.7.16	木	I	総復習	講義・グループワーク	進藤 良太	2	
				予習 特になし				
				復習 学習した課の内容を確認する				